

琵琶湖の保全・再生とCO₂ネットゼロに向けた森林づくりの推進

- ▶ 本県の森林が持つ多面的機能を持続的に発揮させることにより、琵琶湖の水源涵養、淀川水系の流域治水、国土保全や地球温暖化防止を図る

【要望先】財務省、農林水産省

1. 提案・要望内容

(1) 森林整備事業に対する財政支援

- 琵琶湖の保全・再生と淀川水系流域治水に向けた健全な森林の育成や、「しがCO₂ネットゼロ」等の実現に向けて、森林吸収源対策を強化するために、主伐・再造林や奥地における間伐の推進などの森林整備に対する財政支援
- 森林の適正な保全・管理等に必要な森林情報のデジタル化への財政支援

(2) 治山事業に対する財政支援

- 近年、増加している集中豪雨や台風等による土砂流出や流木被害への対応や流域治水の推進に向けた治山事業に対する安定的な財政支援

2. 提案・要望の理由

(1) 森林整備事業に対する財政支援

- 本県は、森林の適正管理、林業の成長産業化、さらには農山村の活性化による「やまの健康」に取り組んでいる。
- 喫緊の課題である地球温暖化対策のために、本県は「しがCO₂ネットゼロ」に取り組んでおり、主伐・再造林による森林資源の若返り等による森林吸収源対策の強化とともに、生物多様性の保全に向けて奥地における間伐等による多様で健全な森林の整備が必要。
- 森林整備の低コスト化や森林の適正管理のため、航空レーザ解析による高精度な情報把握等による森林情報のデジタル化が必要。

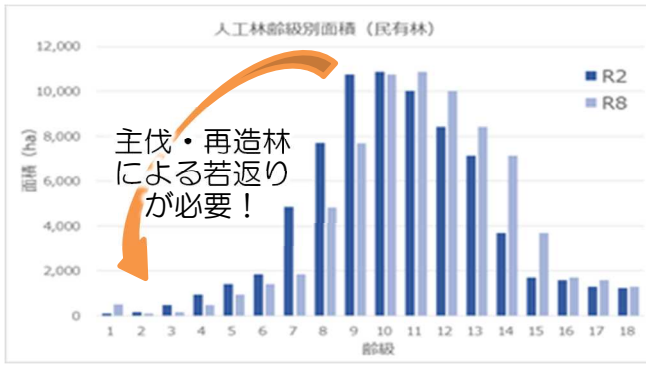
(2) 治山事業に対する財政支援

- 気候変動の影響により大雨の発生頻度がさらに増加することが懸念されるなか、災害復旧工事の早期完了や、防災・減災、国土強靱化のために治山事業への安定的な財政支援が必要。
- 特に、琵琶湖保全再生法に基づく国民的資産である琵琶湖の保全・再生や淀川水系流域治水の推進、SDGsやMLGs(マザーレイクゴールズ)*の目標達成に向けて、本県の森林整備および治山対策のための重点的な財政支援が必要。

*MLGs(マザーレイクゴールズ)とは、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会への目標(ゴール)であり、「琵琶湖版のSDGs」です。

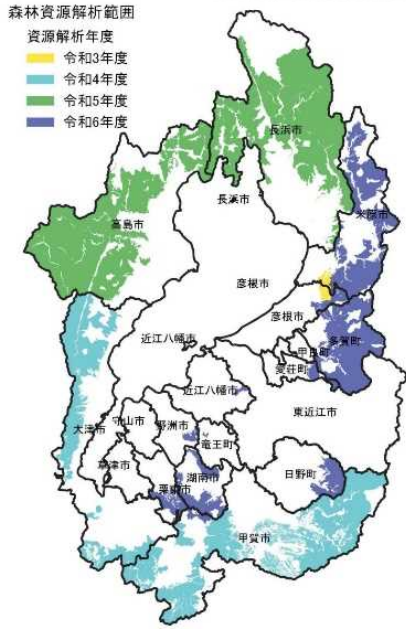
(本県の取組状況と課題)

(1) 森林整備事業に対する財政支援(取組状況)



ゾーニング

- 循環林 (資源の循環利用を促進する森林)
- 環境林 (自然のサイクルで維持される森林)



航空レーザ解析

高精度の
森林資源情報

境界明確化に活用

路網計画等に活用

ゾーニングに活用

(2) 治山事業に対する財政支援(取組状況)

山腹崩壊による被害及び復旧状況 (H25 災害)

崩落土砂により、死者1名、家屋全壊3戸、寺全壊1戸他の被害

平成25年度に、災害関連緊急治山事業にて緊急対応後、隣接地は復旧治山事業で復旧

担当：琵琶湖環境部 森林政策課 TEL 077-528-3914
 森林保全課 TEL 077-528-3930